



【所在地】〒028-5134  
 一戸町奥中山字西田子1468-2  
 ☎0195-35-3888 (4月1日以降)  
 【開館時間】午前9時～午後5時  
 【休館日】毎週火曜日と祝日の翌日  
 (夏休み、冬休み、春休み期間中は連続開館)  
 【問い合わせ先】県庁児童家庭課  
 ☎019-629-5457

## 五感で感じる遊びを体験しながら 子どもの夢見る力を育てたい

いわて子どもの森(仮称)館長予定者 吉成 信夫

—いわて子どもの森には、どんな特色がありますか—

吉成 まず、左のシンボルマークを見てください。子どもがゴロンと寝転がって、「カモン、来いよ」と呼びかけていますよね。ここは子どもたちにとって居心地の良い場所、子どもたちの住み家であり、また戻ってきたい場所なんです。子どもたち自身の自発性、自主性を尊重し、選ぶのは子どもたち。一人ひとりがどう感じて、どう動くか。私たちは寄り添ってその場のお手伝いをするだけです。

今の子どもたちはからだ全体で感じる体験が少ないことから、いわゆる五感を刺激する、誘発するプログラムも組みますが、決して「勉強」ではなく、「遊びと学び」のミュージアムでありたいと思っています。遊びの中に学びはいっぱいありますからね。不思議の体験の中から子どもたちの想像と創造を育み、アートやサイエンスと出会う場にしたいですね。

—いろいろな楽しい仕掛けがあると—

吉成 国道4号線からの入り口に建つサイン看板から物語は始まります。子どもの森に着くと、玄関にもちょっとした工夫があり、みんなワクワクドキドキしますよ。中に入るといきなりおもちゃがたくさんあったり…。「何だろう、これは」と思いながら、絶対何かしたくなる仕掛けです。

—具体的にはどのように活用できますか—

吉成 開館時間内なら個人でも自由に遊びに来られますし、子ども会やPTAの活動、遠足、総合学習などにも利用可能で、プログラムの相談にも乗ります。また、遊びの場を元気にする若いお兄さん、お姉さんのプレーリーダーがいて、遊びをサポートします。みんな遊びの専門家であり、プログラムを考えたり、ワークショップの実演もします。土日は企画行事も開催します。子どもだけではなく、大人も子どもに戻れる楽しい場所ですよ。

—遊びのボランティアもいるのですか—

吉成 ただ今募集中です。ボランティアの中から遊びが生まれてくることもあり、小学生からおじいちゃんおばあちゃんまで、いろんな方に関わっていただいて、いっしょに子どもの森をつくっていきましょう。

—オープンが楽しみです—

吉成 百聞は一見にしかず、とにかく来なければわからないし、来た方は絶対に得をします。居心地が良く、ホッとできる場所。来て触れてみて、体験してみてください。くれぐれもお勉強するところではありませんから(笑)。



県政  
 プロジェクト

みんな、思いっきり遊びにおいでよ!

5月5日のこどもの日、一戸町奥中山に県立児童館「いわて子どもの森(仮称)」がオープンします。出会い、くつろぎ、不思議をテーマにした遊びがいっぱいのミュージアム。緑の森のワンダーランドへ出かけてみましょう。

5月5日オープン

# いわて 子どもの森



プレーリーダー  
 藤井里枝さん  
 (ふうちゃん)



プレーリーダー  
 中村大介さん  
 (だいちゃん)



プレーリーダー  
 長崎由紀さん  
 (ゆっきい)

よしなり・のぶお  
 東京生まれ。都内の会社勤務を経て平成8年に東山町に移り住み、「石と賢治のミュージアム」の設立に力を注ぐ。環境教育、地域づくりコンサルタントとして活躍し、現在、地域づくりサポート機関「若手子ども環境研究所」代表。平成13年には葛巻町でフリースクール「森と風のがっこう」をスタートさせた。平成15年4月よりいわて子どもの森館長に就任予定。